

第28回下野市行政改革推進委員会 会議録

日 時 平成25年11月21日(木) 午後1時30分～4時30分
場 所 下野市役所国分寺庁舎 304会議室
出席委員 杉原弘修会長、飯島陽子委員、関口博之委員、吉田良一委員、飯野洋委員、
水上美紀委員、長光博委員、大木徳委員、園部小由利委員、中林佳子委員
出席者 蓬田健康福祉部長、山中健康増進課長、福田健康増進課長補佐、
落合産業振興部長、山中農政課長、保沢農政課長補佐、上野農政課主幹、
高德商工観光課長、瀧澤商工観光課長補佐
事務局 小口総合政策課長、小谷野主幹兼課長補佐、山内主幹、坂巻副主幹
傍聴者 なし

○次第

- 1 開 会
 - 2 あいさつ
 - 3 議 事
- (1) 会議録署名人の指名
 - (2) 行政評価市民評価3事業ヒアリング
 - ①健康づくりトレーニング事業(健康福祉部)
 - ②石橋南部地区ほ場整備地区内集会施設建設事業(産業振興部)
 - ③観光事務費事業・観光振興団体助成事業(産業振興部)
 - (4) その他
- 4 閉 会

○あいさつ

(杉原会長) 本日も宜しく申し上げます。

○議事

(1) 会議録署名人の指名

(杉原会長) 今回の会議録署名委員は、吉田委員と飯野委員にお願いします。

(2) 行政評価市民評価3事業ヒアリング

(杉原会長) それではヒアリングに入ります。

[健康福祉部出席者自己紹介]

[健康福祉部長から健康福祉部の概要及び評価対象事業の位置づけの説明]

①健康づくりトレーニング事業

[健康増進課長から説明]

(健康増進課長) 本事業は、健康づくりに有効といわれる有酸素運動やマシントレーニングなどを中心とする運動指導実践事業で、既病歴など基に、個々に合わせたメディカルトレーニングメニューを組むことにより、市民の

生活習慣病等の予防や健康増進及び介護予防、医療費の抑制を目指し実施しています。(詳細はヒアリング資料参照)

- (杉原会長) それでは質問・意見がありましたらお願いします。
- (水上委員) 利用料金に市民と市民以外の方で差があるか教えてください。
- (健康増進課長) 16歳から64歳まで1回当たり500円、65歳以上の方と障害のある方は300円となり、市内外での差はありません。
- (園部委員) トレーニング室の利用は、年齢的にどの世代が多いですか。
- (健康増進課長) 60歳代の方の割合が一番多いです。
- (園部委員) その年代の方を対象としている事業と考えていいのでしょうか。
- (健康増進課長) あくまでも利用対象者は16歳以上ですが、年齢的には60歳代の方が多い状況です。
- (飯島委員) 今までどのような意見があり、意見に対してどのように対処されていますか。
- (健康増進課長) 利用ごとの申請を見直して欲しいという意見があり、回数券を導入しました。利用時間の見直し、室内温度についての意見については、全体の状況を説明し、今のままでの利用をご理解いただきました。また、トレーニング室が狭く待ち時間が長いとの意見もありましたが、今後改修にあわせて改善してきたいと思っています。
- (飯島委員) 講習会については、月1回で年間99名の受講があったとのことですが、月1回では少ないと感じます。在勤者の登録を増やそうとしているようですが、月1回だと講習会を受けられず、登録ができないという方が多いのではないのでしょうか。
- (健康増進課長) 月によっては、平日以外の土日で講習会を行うようにして登録者増を図っています。
- (関口委員) 既病歴のある方に対しての主治医との連携について教えてください。
- (健康増進課長) 既病歴のある方には、要綱に基づき主治医から「運動指導情報提供書」を提出していただいています。提供書に基づいて、健康運動指導士がトレーニングプログラムを作成しています。
- (関口委員) 利用料収入を差し引いて委託料を支払うという事によろしいですか。
- (健康増進課長) 利用料は市の収入となります。
- (関口委員) では、事業の収支はどのようになっていますか。
- (健康増進課長) 平成24年度では、委託料から利用料収入約500万円を引いた約1,160万円が市の負担となっています。
- (関口委員) 利用人数からすると、利用料収入が少ないと思いますがどうしてですか。
- (健康増進課長) 回数券や1か月券、3か月券、6か月券がありますので、利用者×1回の利用料とはなっていません。
- (関口委員) 機械は何台ありますか。
- (健康増進課長) 有酸素運動機器と筋力トレーニング機器あわせて30台です。
- (関口委員) 委託料が約1,500万円で、講師等は3人だとすると、単純に人件

費が一人当たり500万円となります。高すぎないですか。資格のある人と一緒に資格のない人をつけるなど人件費の削減はできないのでしょうか。

(健康増進課長) 講師は、健康運動指導士が2名、健康運動実践指導者が1名ですが、一般的なスポーツトレーニング施設とは違うため、専門家の指導が必要と考えています。

(関口委員) 1日の利用人数、時間帯、機械の台数など考慮し、講師の勤務形態を変更するなど、人件費の削減が図れると思います。ゆうゆう館では、社会福祉協議会が高齢者の機能回復を目的に事業を行っていますが、指導者1名とボランティアの方で運営しています。やはり人件費が高すぎると感じます。

(健康福祉部長) きらら館については、メディカルトレーニングという目的で事業を実施しています。講師が医師と連携し、年齢、持病、服用している薬など総合的に分析し、その方に必要な運動メニューを作成します。その後、効果を検証しながら次の対応を決めていきます。事業の特殊性から、専門家を抱える事業所との契約が必要だと考えています。

(関口委員) 説明内容は良く分かっているつもりですが、それでも委託料が高いと感じてしまいます。

(中林委員) 13時から14時まで休みがありますが、他の施設だとトレーナーなどは交代で休み、施設自体の休み時間はないと思います。開始時間に混む原因にもなっていると思いますので、改修などにあわせて改善は考えていますか。

(健康福祉部長) 時間については、市民の皆様からも多くの意見があります。市としても十分認識している事項ですので、市民サービスにつながる時間帯の設定など、改修を行っていく上で当然検討させていただきます。

(大木委員) 時間帯ごとの利用者数はどうなっていますか。

(健康増進課長) 平成24年度トータルで、9時から7,068人、10時から5,345人、11時から1,805人、12時から175人、14時から6,594人、15時から3,224人、16時から2,799人、17時から1,900人、18時から1,005人、19時から120人となっています。

(大木委員) 利用料金ごとの人数はどうですか。

(健康増進課長) 手元にデータがないため、後日報告いたします。

(大木委員) 65歳未満、65歳以上の利用者数はどうですか。

(健康増進課長) 16歳から64歳までが9,471人、65歳以上が20,564人です。

(園部委員) マシントレーニング以外で、スポーツクラブで行っているようなエアロビクスなどは今後も考えていないのでしょうか。若い方が利用しない原因の一つでもあると思いますし、60歳以上の方もそのようなプログラムを十分楽しんで健康づくりをされていると思います。

(健康福祉部長) 現在はスタジオがないため不可能ですが、改修の際の検討とさせてい

たきます。

- (水上委員) 65歳未満、65歳以上の登録者数はどうですか。
- (健康増進課長) 資料がないため、後日報告させていただきます。
- (杉原会長) 健康運動指導士と健康運動実践指導者は国家資格ですか。
- (健康福祉部長) 公益財団法人健康・体力づくり事業財団の認定となります。
- (杉原会長) 市の職員で資格を取る人が出てきてもいいし、資格を持っている方を採用するという方法も考えていくべきかなと思います。専門の指導者を外部委託した場合は、どうしても金額はかかりますので、利用者が多い事業ですから、専門家を育てるということを考えてもいいのではないのでしょうか。また、トレーニングメニューを作成する際に、医師との連携があるとの説明でしたが、医師への報酬はかなりの金額になると思います。医師への報酬を考慮すると委託料が少ないと思うのですがいかがですか。
- (健康福祉部長) 医師の報酬については、委託している事業所において契約している医療機関の医師に相談しているため、市としての予算措置はしていません。
- (杉原会長) それでは、健康づくりトレーニング事業についてのヒアリングは終了します。

[産業振興部出席者自己紹介]

[産業振興部長から産業振興部の概要及び評価対象事業の位置づけの説明]

②石橋南部地区ほ場整備地区内集会施設整備事業

[農政課長から説明]

- (農政課長) 石橋南部ほ場整備地内の約1haの非農用地に、地域住民のコミュニティ施設としての機能だけではなく、都市農村交流の拠点としての集会施設を整備します。また、都市部と農村部住民との交流と地域活性化のための交流施設、農産物の販売及び加工所を整備し6次産業の推進を図ります。集会施設については市が事業主体、交流施設などについては地元組織による整備を目指しています。(詳細はヒアリング資料参照)
- (杉原会長) それでは、質問等お願いします。
- (飯島委員) 事業主体が地元組織で、平成26年度に会員募集を行うとなっておりますが、地元組織、会員募集について教えてください。
- (農政課長) 平成24年7月に「石橋南部地区集会施設整備検討委員会」を設立しました。構成メンバーは、石橋南部地区の土地改良区役員、下長田ふれあい直売所、四季彩農産物直売所、中大領農産物直売所、JAおやま石橋女性部会、石橋地区農村生活研究グループ、グリム工房、石橋地区女性農業士の計16名です。現在は検討委員会において、今後の地元組織の在り方、会員募集について検討している段階です。

- (飯島委員) 地元組織はNPO法人などを考えているのですか。
- (農政課長) 出資された方たちによる組合型式になると考えています。
- (飯島委員) 趣旨に賛同される方を集めるということですね。出資額などはどうなりますか。
- (農政課長) 検討委員会において検討中で、現在のところ未定です。
- (水上委員) 検討段階とのことですので、イメージとしてお聞きします。集会施設は年間を通して開館を考えていますか。また建設は市が主体で行うとのことですが、管理はどのように考えていますか。
- (農政課長) 市が直接管理することは考えていません。直売所や加工所との連携での管理が一番合理的と考えています。また、開館日についても他施設との連携が必要と考えていますが、あくまで検討段階であることをご承知おきください。
- (関口委員) 整備の大きな目的は、コミュニティ施設の整備なんでしょうか、集会所なんでしょうか、直売所なんでしょうか。
- (農政課長) 直売所、加工所、集会施設の3つの機能を、それぞれ目的としています。
- (関口委員) 既存の直売所3か所はこの施設に集結するのですか。また加工所についても、既存施設との関係はどうなると考えていますか。
- (農政課長) 四季彩農産物直売所はJAおやまが運営しているため統合は難しいと考えていますが、下長田、中大領の農産物直売所は合流されるのではないかと考えています。加工所についても、機能を充実させて集約したいと思っています。
- (関口委員) 道の駅しもつけが大成功しているので、まねしようとしているのではないのでしょうか。
- (農政課長) そういったことはありません。平成10年の「下都賀東部地区農村振興計画」において、地域の農村振興・基盤整備の計画の中で、すでに計画されておりました。
- (関口委員) 土地の取得後、事業が始まるまで大変時間がかかっています。旧石橋町で策定された計画が、合併してからも7年間進捗していなかったことが納得できません。土地があるから整備していくということではなく、しっかりした目的を示すべきではないのでしょうか。
- (農政課長) 石橋南部地区の土地改良事業は、平成16年度から始まり平成22年度に完了いたしました。事業完了後に整備を行うこととしていたため、今現在事業を行っているわけですので、7年間ほっといたわけではありません。
- (関口委員) 既存の直売所はJAでやっているところもありますが、今回の整備はJAではやらないのでしょうか。
- (農政課長) 今回の事業目的は、6次産業化の推進、地産地消の推進でありますので、市が積極的に進める事業となります。
- (長委員) 市の関与の在り方について、集会施設のみ市が建設するということがよろしいのでしょうか。

- (農政課長) 集会施設は市が事業主体となります。交流施設などは、地元組織が事業主体となり、出資金や国・県の補助金を活用していくこととなります。
- (関口委員) コミュニティ施設は生活安全課が主管だと思いますが、今回の整備は全て農政課で行うのですか。
- (農政課長) 今回の整備は、都市と農村の交流施設として整備していく予定ですので、通常のコミュニティ施設整備とは異なると考えています。
- (水上委員) 今回は、コミュニティをその地域の方々のコミュニティと捉えるのではなく、この地域の農産物の生産者と地域以外の方との交流の場としてのコミュニティと考えてよろしいのでしょうか。
- (農政課長) 市外の方、消費者の方との交流の意味合いが濃いと考えています。
- (杉原会長) 視察先はどこですか。
- (農政課長) 足利の「北の郷」を視察しました。直売所と加工所があり、地元の方の出資、金融機関からの借入、市の補助金を活用したとのことでした。地域活性化に繋がっているとのことでした。
- (杉原会長) イメージ的には道の駅のようなものですか。
- (農政課長) 規模的には小さいですが、直売所、加工所、トイレ、広場、隣接地に体験農園がありました。
- (杉原会長) 今回の事業の計画が具体的になっていないため、どのような整備を考えているか、視察先でイメージすることができるとお聞きしました。河内にある農村体験交流施設は視察されましたか。
- (農政課長) 見ていません。ほかに視察先としては、那須塩原の「そすいの郷」に行っています。
- (中林委員) 集会施設と交流施設についてお伺いします。交流施設は、直売所や加工所との関係で位置付けが分かるのですが、集会施設はどのようなイメージですか。集会施設と交流施設を分けて整備する目的、集会施設の位置づけは何なのでしょう。
- (農政課長) 集会施設については、地域住民の研修会、座談会ができるような施設がほしいとの要望があり計画されました。まだ検討段階ですが、研修室、談話室など整備したいと考えています。利用目的の一つに、直売所、加工所などの利用者の休憩施設にもなりうるだろうと考えていますが、最終的には地元の方との協議の中で決定していきたいと思っています。
- (中林委員) 集会施設は、一般的な公共施設のように貸出する場合には有料とすることを想定しているのでしょうか。交流施設のように誰でも入れるような施設を想定しているのでしょうか。
- (農政課長) どのような形態になるかは、検討段階で未定です。
- (産業振興部長) 各施設を個別に建設するのか、一体的な施設とするのかも決まっておらず、またどういった補助金を活用すれば、市や地元の負担が少なく済むか、現在模索中の事業でありますので、その点ご理解いただければと思います。

- (水上委員) 個人で思っていることですが、この地域の農家の方々は、地元意識、協働の意識の強い団結が強い地域で、古くからの良き文化を継承している地域だと感じています。地元の方々の力を利用すれば、市の負担も少なく済み、道の駅以上に成功するユニークな施設になる可能性を秘めた事業だと思います。大変すばらしい地域であると考えていますので、地元の方と大いに協力してもらいたいです。
- (杉原会長) 河内の農村体験交流施設は小さいけれども「村まつりの拠点にする」というコンセプトがはっきりしていました。今後コンセプトがはっきりしてくれば、整備目的もしっかりしてくると思います。
- (農政課長) コンセプトの一つとして、6次産業化の拠点の整備を挙げています。地元農産物の生産、加工、販売、その中で都市部の方との交流という目的を持っていますので、地元の方と協力し事業を進めていきたいと思っています。
- (大木委員) 総合計画では優先度が4-Cとになっています。優先度的には急いで実施する事業ではないと思いますがいかがでしょうか。
- (総合政策課長) 総合計画で示している優先度は、策定した当時、平成23年度の状況を示しているものです。その後事業の熟度や緊急度が上がると、優先度も上がることになります。今回の事業は平成25年度においてはB評価となっておりますので、計画どおり実施する事業となっております。
- (杉原会長) ほかになければ、石橋南部地区ほ場整備地区内集会施設建設事業のヒアリングを終了します。

③観光事務費事業・観光振興団体助成事業

[産業振興部長から評価対象事業の位置づけの説明]

[商工観光課長から説明]

- (商工観光課長) 観光事務費事業については、やすらぎの栃木路共同宣伝事業による首都圏JR駅でのPR活動やバスへの広告掲載、オアシスポップ館の運営、駅からハイキングなどによるJR東日本との連携、観光案内パンフレット等の作成、観光協会への運営支援を目的としています。観光振興団体助成事業については、観光協会への組織運営、事業展開への補助を行うことで、観光の振興を推進し、効率的で魅力ある観光イベントを開催することを目的としています。一般社団法人下野市観光協会の設立は、観光協会、行政、市民、事業者との協働により地域一体となった観光事業を推進する上で重要な役割を担っています。(詳細はヒアリング資料参照)
- (杉原会長) 今回は2事業あわせてのヒアリングとなります。それでは、質問等お願いします。
- (吉田委員) 平成25年7月1日に設立された一般社団法人下野市観光協会の人員構成はどうなっていますか。
- (商工観光課長) 事務室は道の駅しもつけにあります。事務局長として、再任用職員が

1名専属でいます。その他の職員は、商工観光課の職員2名が事務の補助をしており、臨時職員が1名となっています。

(飯野委員) 今年度予算と来年度予算を比較すると、観光事務費事業で1,000万円が3,000万円弱、観光振興団体助成事業では500万円が2,600万円となっています。増加要因を説明していただきたいと思えます。

(商工観光課長) 観光事務費の2,000万円弱の増額は、観光協会運営補助(交付金)の増額分となります。事務局長としての再任用職員の人件費、また市職員を派遣する予定でその人件費分となります。また観光振興団体助成事業の増額分については、市が持っていた花まつりなどの事業費を、観光協会へ事業補助金として支出予定のため増額となっていますが、相当分の市の事業費は減額となっています。

(飯島委員) 小金井駅から花まつり会場までの移動手段について、タクシー会社との提携などは考えていますか。

(商工観光課長) 観光協会において、タクシー協会の方と検討を始めたところです。

(飯島委員) 市の観光振興においては、交通手段が問題になっていると思います。観光案内所のオアシスポップ館があっても、駅からその先に行く手段がないのは残念です。割安の観光タクシーの導入など考えていただけたらと思います。

(関口委員) 花まつりなどの事業費の内訳はどのようになっていますか。

(商工観光課長) 花まつりの主な事業費は、ぼんぼりなどの設置、交通整理、ステージ前のテント設置、音響関係、仮設トイレ設置、ごみの運搬処分、ステージイベント費用などとなります。

(関口委員) それぞれの金額は公表できますか。

(商工観光課長) 額の大きなものでは、交通整理関係で約300万円、ぼんぼり設置で約130万円、ごみ処分で約100万円、ステージ関係・テント・音響などで約200万円となります。

(関口委員) 今の説明の金額ですとまだ事業費の約半分です。その他の金額はどうですか。

(杉原会長) 内訳の詳細は、この場で公表できるのでしょうか。

(産業振興部長) 平成26年度の予算の詳細については、予算編成前ですので差し控えさせていただきますと思います。

(大木委員) 今年度の予算について、内訳詳細を教えてくださいと思いますがどうでしょうか。

(関口委員) それぞれの費用が分からないと、それが妥当かどうかの意見も言えなくなってしまうと思います。

(商工観光課長) 今年度の予算を申し上げます。消耗品関係で55万円、PRポスター・ちらし・ステージプログラムなどの印刷製本費で45万円、器具の修繕費で20万円、ごみ処理・交通整理・テント・ステージカラオケ等の委託料で約600万円、工事請負費で約130万円となっております。この他に観光協会で持っている花まつりの事業費があります。

- (大木委員) 事業の意図に観光客入込数の増加を挙げていますが、目標値はありますか。
- (商工観光課長) 現在のところ設定していません。
- (大木委員) 総合計画後期基本計画では、市観光客入込数の平成27年度目標値が110万人となっていますので、各年度の入込数は把握されているのでしょうか。
- (商工観光課長) 道の駅しもつけのオープンに伴い、入込数が目標値よりも大幅に増加しています。
- (商工観光課長補佐) 平成24年1月から12月の状況で、3,000,641人となっています。道の駅しもつけの来訪者が2,504,165人となっていますので、道の駅以外では約50万人の方が来訪していると考えられます。
- (大木委員) JR3駅との連携による立寄り客の増加を図るとは、どのような方法を考えていますか。
- (商工観光課長) 一つは「駅からハイキング」が挙げられます。駅からのハイキングコースを設定することによる観光客の増加を図っています。また栃木県として、JRグループと指定された自治体、地元の観光事業者等が協働で実施する大型観光キャンペーンである「デスティネーションキャンペーン」の平成28年度の指定に向けた誘致活動を行っており、市としても駅を利用した観光事業のPRに努めています。
- (大木委員) JRとの連携で、協議会など設けているのですか。
- (商工観光課長) 特に協議会などは設けていませんが、市内3駅のうち駅長がいらっしゃるのが小金井駅のみになりますので、小金井駅長には、観光協会の理事や観光振興計画の委員など引受けていただき、随時連絡は取らせていただいています。管轄がJR大宮支社となりますが、PR事業があれば声をかけていただいています。
- (吉田委員) 観光協会運営補助(交付金)で、給与手当等の金額の根拠は、初めにお聞きした回答の事務局長1名、臨時職員1名、商工観光課職員2名ということでしょうか。
- (商工観光課長) 来年度の人員配置は確定していませんので、現在の人数を想定して計上しています。
- (吉田委員) 4名以上に増員する可能性もあるわけでしょうか。必要人数はどう考えていますか。
- (商工観光課長) 今年の状況からすると1名の増員が必要かと思いますが、人員配置については全体的なことですのでどうなるかは分かりません。
- (杉原会長) それでは時間ですので、観光事務費事業・観光振興団体助成事業のヒアリングを終了します。

[産業振興部職員退席]

- (杉原会長) 本日のヒアリングが終了しました。何かご意見ございますか。ないよ

うでしたら次に移ります。

(4) その他

(杉原会長) その他について事務局からお願いします。

(事務局) 次回は11月28日(木)午後1時30分からの開催です。ヒアリング資料を本日配布しますので、次回お持ちください。

(杉原会長) 本日の会議はこれで終了いたします。

以上